

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

「本物」を目指して

校長 小山 裕之

数名の弾むようなソプラノの歌声が廊下を移動して間もなくすると、生徒会室から迫力のある合唱が校舎に響きました。合唱祭に向けて、お昼休みに歌練習をする3年生の歌声でした。深まる秋とともに、今日も杉中は、校舎のあちこちから聞こえる歌声に溢れています。

9月末には、新人体育大会の予選会が行われました。1・2年生の新チームとなって初の大きな公式戦です。いずれの会場でも、勝敗に関わらず全力を尽くす杉中生でした。激戦を制して見事、県大会出場を掴んだ選手、チームの皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。

子供たちには朝会で既に話したことですが、9月26日（木）は、本校体育館が男子卓球部の試合会場でした。朝、登校する生徒と校門で挨拶を交わして中に入ると、体育館2階の窓の外側を、



一生懸命水拭きしている生徒を見かけました。また、ある人は来校した先生や保護者が迷わないように、コーンに駐車案内の掲示物を張っていました。他の人たちも分担して、体育館を掃除していました。本当なら、「掃除は必要最低限。簡単に済ませて、その時間に少しでも練習し、コンディションを整えたい。」そう考えるのが普通だと思います。でも、男子卓球部の人たちは、他校の選手や保護者の方々が、会場を気持ちよく

使えることを大切に考え、隅々まできれいにしていました。同じようなことは、卓球以外の他の競技や会場でも、あるいは、今の3年生の人たちの中にも、きっと、そんなふうに準備や片づけを進んで行い、献身的に働いてくれた人がいたのだと思います。技術や体力と共に、磨かなくていけないものがある、その大切さに気付かなければ、本当の力は身に付けられない。「本物」にはなれない。そんなことを子供たちの姿から、学んだ気がしました。

10月17日（木）は、松伏町みどりの丘公園において、北葛駅伝大会が行われました。レース前の円陣では、「懂れるのはやめましょう。みんなでしっかり走りましょう！」とリーダー役の生徒が声を掛け、緊張した皆の表情が、一転して笑顔になりました。出場した各チームが先行逃げ切りを狙うレースは、序盤からハイペースとなりましたが、それぞれの選手が着実に襷を繋いだ本校が、男女共に優



勝。見事、県大会出場を決めました。本校は、参加した26名の選手のうち、半分以上が3年生です。部活動引退後も黙々と練習に取り組み、全力で挑戦することの素晴らしさを、背中で見せてくれた3年生でした。その想いは、きっと繋いだ襷を通して、後輩達へと受け継がれていくのだらうと思います。選手一人一人の頼もしさと確かな成長を感じた大会でした。



10月25日（金）は、合唱祭を予定しています。子供たちは日々、声の出し方や歌い方等に磨きをかけ、練習を通して互いを信じ、仲間や先生方との絆を深めています。このお便りを御覧いただく頃には、既に合唱祭を終えているかと思いますが、保護者の皆様には、子供たちの一生懸命な姿、成長した姿にどうぞ御期待ください。

昇降口を駆け出す生徒の側で、柚子の木が5cm程の青い実を付けました。ひと月半後に今学期を締めくくる頃には、きっと黄色い大きな実に成長していることと思います。